

海外現地法人の動向（海外現地法人四半期(7～9月期)調査）

要 旨

平成15年10月～16年3月期の見通し(DI)は、
・売上高DIは、8期連続プラス。NIES3を除く全地域で2桁のプラス、特に中国が高水準を維持。前期比は4期ぶりに悪化。輸送機械等の悪化でアジア、北米が悪化し、欧州は輸送機械が好調で改善。
・設備投資DIは7期連続で2桁プラス、特に中国が10期連続2桁プラス。前期比は3期ぶりに悪化し、全地域が悪化。

平成15年7～9月期の実績は、

・売上高は6期連続増加。輸送機械等の増加からアジアが5期連続2桁の増加、欧州も6期連続増加。北米は鉄鋼の減少で2期連続減少。中国はIT関連が好調で5期連続の2桁増加。
・設備投資は3期連続の増加。輸送機械は北米、アジアが好調で増加。中国は4期連続で大幅増加。

今回調査のポイント

調査時点：平成15年11月中旬

1. 売上高見通し(DI)⁴は20.1%ポイントと8期連続プラス。一方、前期比は7.9%ポイントと4期ぶりに悪化

(業種別) 当期DIは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス。
前期比では13業種中10業種が悪化。輸送機械は北米の悪化で同7.0%ポイント、電気機械は同8.5%ポイントと悪化。

(地域別) 当期DIはNIES3³を除く全地域で2桁のプラス。中国¹は34.4%ポイントと高水準を維持。前期比ではアジアが輸送機械等の悪化で同11.2%ポイント、北米は同8.7%ポイントと、ともに4期ぶりの悪化。欧州は輸送機械等の改善で同11.6%ポイントと改善。

2. 売上高実績はドルベースでは前年同期比5.7%増と6期連続増加。

(業種別) 13業種中9業種が増加。輸送機械はアジア、欧州等が好調で同9.8%と6期連続増加。一方、鉄鋼は北米での撤退の影響で同37.9%と4期連続の減少。

(地域別) 輸送機械等が好調で、アジアは5期連続2桁増加し、欧州は6期連続の増加。一方、北米は鉄鋼等の減少から、同1.4%と2期連続減少。中国はIT関連が好調で同32.4%と5期連続10～30%台の増加と好調。

3. 設備投資見通し(DI)は7期連続のプラス、前期比は4.9%ポイントと3期ぶりに悪化。実績は前年同期比6.4%と3期連続増加。

見通し(DI)は、当期DIは7期連続で2桁プラス。全地域もプラス。特に中国は輸送機械が好調で19.5%ポイントと10期連続2桁台のプラス。
前期比が3期ぶりに悪化。13業種中9業種が悪化し、全地域で悪化。

実績は3期連続増加。北米は前年同期比18.8%と3期連続増加。アジアは電気機械、輸送機械が好調で4期連続の増加。特に中国はIT関連の増加で同41.7%と4期連続で大幅増加。欧州は輸送機械の減少から同35.4%と2期連続減少。

注：前期調査(平成15年4～6月期)から原則ドルベースでの公表に変更。

当期実績の前年同期比は継続調査対象のみで算出(平成15年4～6月期から調査範囲の拡大(出資比率50%超50%以上)等を行ったことから、当期実績と前期以前の実績に断層が生じているため、前年度から当期に継続調査対象となった現地法人で算出した)。

*1 中国：香港を含む。 *2 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

*3 NIES3：シンガポール、台湾、大韓民国

*4： DI = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

DIの前期比 = 当期DI - 前期DI

当期DI：平成15年7～9月期調査時点のDI(平成15年10月～16年3月期の見通し)

前期DI：平成15年4～6月期調査時点のDI(平成15年7～12月期の見通し)

1. 売上高

売上高D I（平成15年10月～16年3月期の見通し）は、20.1%ポイントと、8期連続プラス。一方、前期比では4期ぶりに悪化。

- ・ 当期D Iは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス。前期比は13業種中10業種が悪化。輸送機械は北米の悪化から悪化し、電気機械も悪化。
- ・ 当期D IはN I E S 3を除く全地域で2桁のプラスで、中国は高水準を維持。前期比はアジア、北米ともに4期ぶりの悪化。欧州は輸送機械等が好調で改善。

売上高実績(ドルベース)は、前年同期比5.7%と6期連続増加。

- ・ 13業種中9業種が増加。輸送機械はアジア、欧州等が好調で6期連続の増加。鉄鋼は北米での撤退の影響で4期連続の減少。
- ・ 輸送機械等が好調なことから、アジアは5期連続2桁増加し、欧州は6期連続の増加。北米は2期連続の減少。中国はI T関連が好調で5期連続大幅な増加。

(参考) 海外経済は、アメリカの景気は力強く回復しており、アジアでは中国、タイ等で景気拡大が続き、台湾、シンガポール、韓国は景気持ち直しの動きがみられる。ユーロ圏は景気持ち直しの動きがみられる(月例経済報告(11月)より抜粋)。

(1) 売上高D Iは、20.1%ポイントと20%台を維持し、8期連続プラスとなった。一方、前期比では、7.9%ポイント(前期D I 28.0 当期D I 20.1)と、4期ぶりに悪化となった。

- ・ 業種別にみると、当期D Iは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス水準を維持した。前期比は13業種中10業種が悪化した。輸送機械は北米の悪化から同7.0%ポイント、電気機械は全地域で悪化し、同8.5%ポイントとそれぞれ悪化した。一方、一般機械は欧州が改善したことから、同2.2%ポイントと3期連続改善となった。
- ・ 地域別にみると、当期D IはN I E S 3を除く全地域で2桁のプラスとなった。特に中国は34.4%ポイントと引き続き他の地域に比べ、高い水準を維持している。前期比はアジアが輸送機械等の悪化見込みから11.2%ポイント、北米は同8.7%ポイントと、ともに4期ぶりの悪化となった。一方、欧州は輸送機械及び一般機械が前期悪化から改善したため、同11.6%ポイントと改善となった。

(2) 売上高(ドルベース)は、前年同期比5.7%と6期連続増加となった。

- ・ 業種別にみると、13業種中9業種が増加となった。輸送機械はアジア、欧州等が好調なことから前年同期比9.8%と引き続き好調で6期連続の増加となった。一般機械は中国の事務機器の好調から同13.7%と6期連続増加、化学は同12.5%増と3期連続の増加となった。また、電気機械は同0.7%と前期に続きほぼ横ばい。一方、鉄鋼は北米での撤退の影響から、同37.9%と大幅減となり、4期連続の減少となった。
- ・ 地域別にみると、アジアは輸送機械等が好調なことから5期連続2桁増加、欧州は輸送機械が好調で6期連続の増加となった。一方、北米は輸送機械は好調なもの、鉄鋼及び電気機械の減少の影響から、同1.4%と2期連続の減少となった。アジアでは、特に中国はI T関連が好調なことから同32.4%と大幅増加となり、5期連続10～30%台の大幅増加を続けている。また、N I E S 3は同1.4%と3期ぶりに増加となった。

売上高の地域・主要業種別のD I見通し(平成15年10月 - 16年3月期)及び実績(平成15年7 - 9月期)

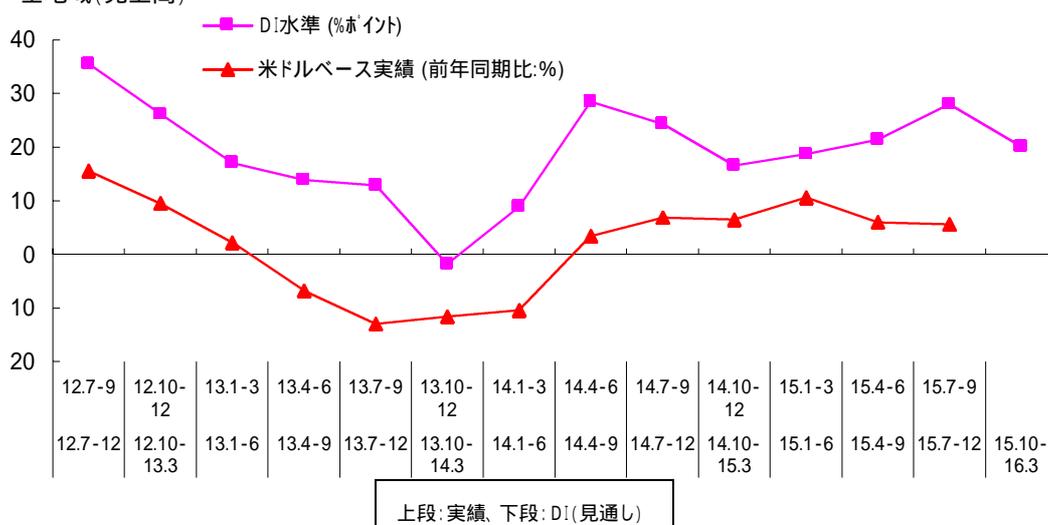
(単位:前年同期比%、前期比%ポイント)

	計(業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学		鉄鋼	
D I(前期D I 当期D I)	28.0	20.1	26.4	19.4	28.8	20.3	25.8	28.0	26.8	23.2	37.5	10.4
D I(前期比)	7.9		7.0		8.5		2.2		3.6		27.1	
実績(前年同期比)	5.7		9.8		0.7		13.7		12.5		37.9	

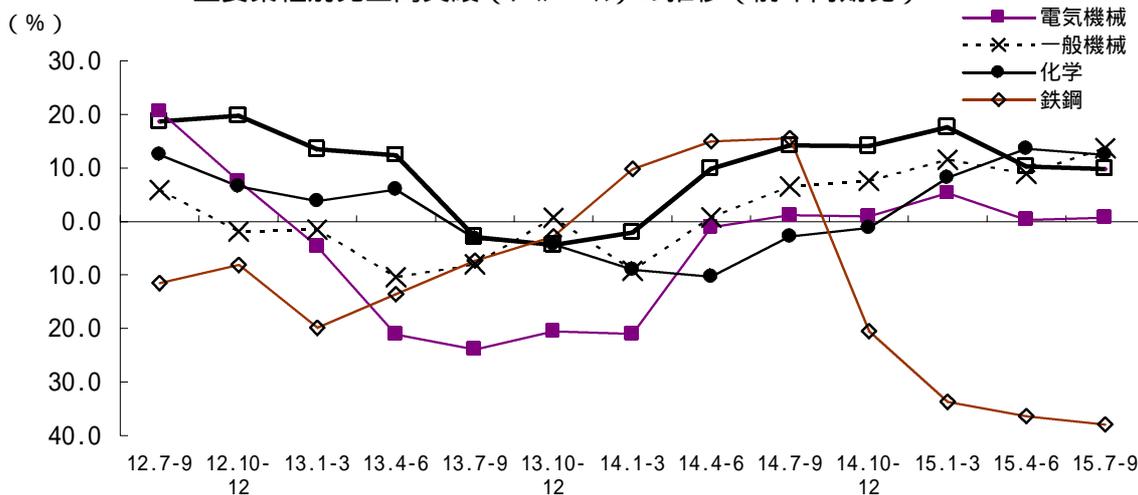
	北米		アジア		ASEAN4 ^{*2}		N I E S 3 ^{*3}		中国(香港を含む)		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	21.6	12.9	34.6	23.4	32.3	19.3	11.7	7.1	47.7	34.4	4.6	16.2
D I(前期比)	8.7		11.2		13.0		4.6		13.3		11.6	
実績(前年同期比)	1.4		15.5		12.2		1.4		32.4		4.9	

売上高の見通しDIと実績(ドルベース)の推移

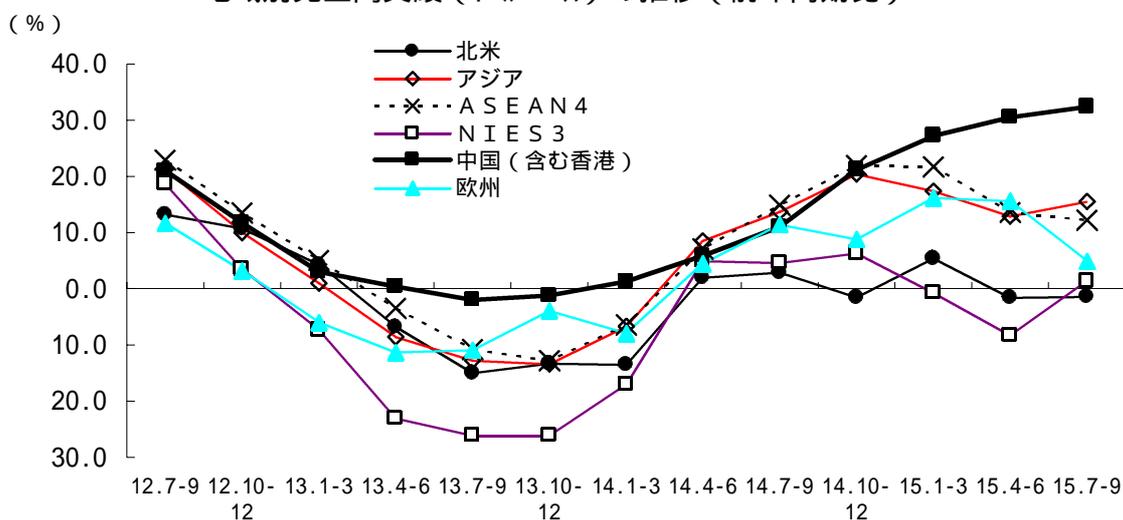
全地域(売上高)



主要業種別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



地域別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額D I（平成15年10月～16年3月期の見通し）は7期連続2桁のプラス。一方、前期比は3期ぶりの悪化。

- ・ 当期D Iは13業種中12業種でプラス。前期比では13業種中9業種で悪化。電気機械は欧州の悪化から、輸送機械は北米の悪化で悪化。
- ・ 当期D Iは全地域で引き続きプラス。中国は輸送機械が好調で10期連続2桁台のプラス。前期比は北米を始め、全地域で悪化。

実績は、ドルベースでは前年同期比6.4%と3期連続の増加。

- ・ 輸送機械が北米、アジアの増加で4期連続の増加。電気機械は3期ぶりに増加。
- ・ 北米は3期連続の増加。アジアは電気機械、輸送機械が好調で4期連続の増加、特に中国はI T関連の増加から4期連続で大幅増加。欧州は輸送機械の減少から2期連続の減少。

(1) 設備投資額D Iは、12.5%ポイントと7期連続2桁のプラスとなった。一方、前期比では、4.9%ポイント（前期D I 17.4 当期D I 12.5）と3期ぶりの悪化となった。

- ・ 業種別にみると、当期D Iは13業種中12業種でプラスとなった。前期比は13業種中9業種で悪化となった。電気機械は欧州の悪化から同4.2%ポイントと3期ぶりに悪化した。輸送機械は北米の悪化から同3.9%ポイント、化学も同5.5%ポイントと悪化。
- ・ 地域別にみると、当期D Iは、全地域でプラスとなった。中でもアジアは15.1%ポイントと7期連続2桁台のプラスとなり、特に中国は輸送機械が好調なことから19.5%ポイントと半期調査から四半期調査に変更した13年4～6月期以降10期連続2桁台のプラスで推移している。前期比は、北米を始め、全地域で悪化となった。

(2) 設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比6.4%と3期連続増加となった。

- ・ 業種別にみると、13業種中6業種で増加となった。輸送機械は北米、アジアの増加から前年同期比6.2%と4期連続の増加となった。電気機械は同16.1%は3期ぶりに増加となった。
- ・ 地域別にみると、北米は同18.8%増と3期連続の増加となった。アジアは電気機械、輸送機械が好調なことから同23.9%と4期連続の増加となり、なかでも中国はI T関連の増加から同41.7%と4期連続20～50%台の増加となった。一方、欧州は輸送機械の減少から同35.4%と2期連続の減少となった。

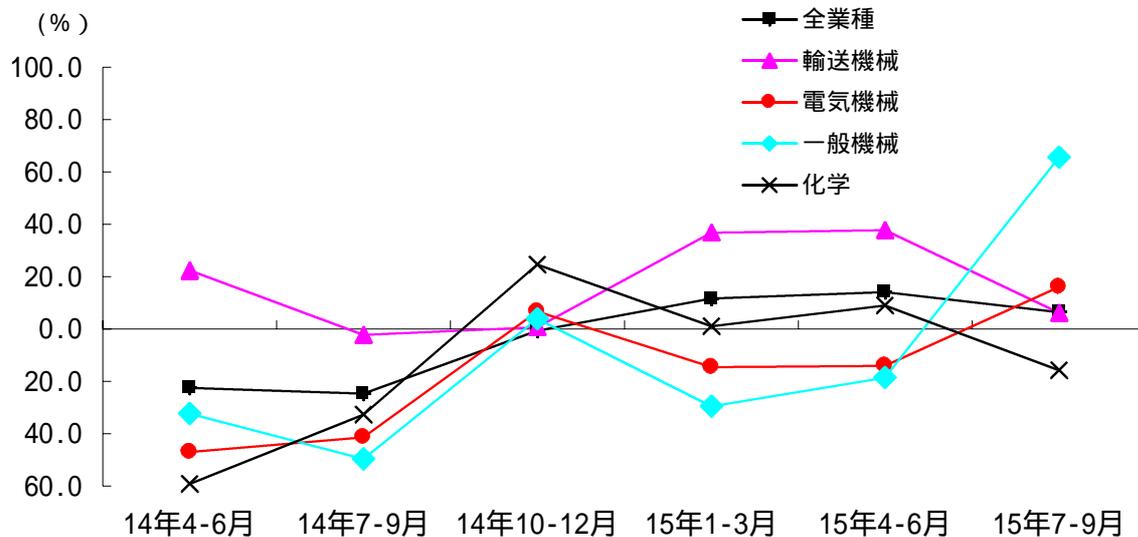
設備投資額の地域・主要業種別のD I見通し(平成15年10月 - 16年3月期)及び実績(平成15年7 - 9月期)

(単位:前年同期比%、前期比%ポイント)

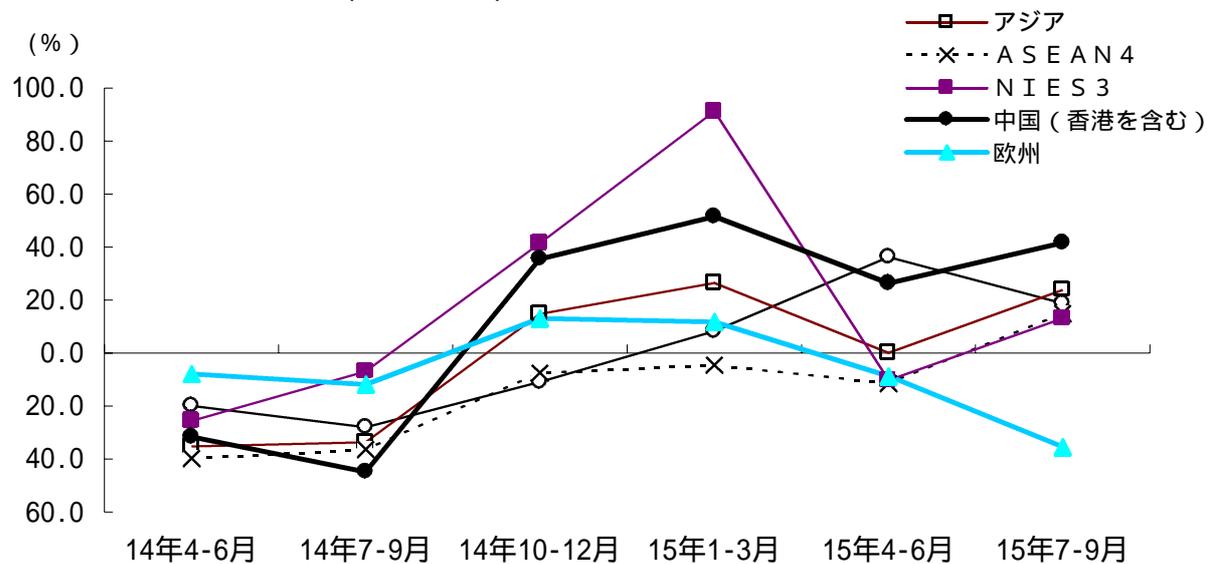
	計(業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学		鉄鋼	
D I(前期D I 当期D I)	17.4	12.5	20.8	16.9	15.0	10.8	12.4	12.6	17.7	12.2	26.7	8.9
D I(前期比)	4.9		3.9		4.2		0.2		5.5		17.8	
実績(前年同期比)	6.4		6.2		16.1		65.6		15.8		24.5	

	北米		アジア		ASEAN4 ²		NIES3 ³		中国(香港を含む)		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	18.8	9.0	18.1	15.1	17.2	13.8	11.9	9.3	22.9	19.5	9.4	7.0
D I(前期比)	9.8		3.0		3.4		2.6		3.4		2.4	
実績(前年同期比)	18.8		23.9		14.9		13.2		41.7		35.4	

主要業種の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



地域別の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



3. 雇用

従業者数当期DI（平成15年10月～16年3月期の見通し）は、前期比 2.2%ポイントと、前期改善から悪化に転じた。当期DIは 2.0%ポイントと5期連続プラス。

- ・ 前期比は輸送機械、一般機械など13業種中7業種で悪化。当期DIは13業種中7業種がプラス。
- ・ 前期比は北米、欧州は前期改善から悪化となり、アジアは2期連続改善。当期DIはアジアを除き全地域でマイナス。中国は17期連続2桁台のプラス。

従業者数（平成15年9月期末）は、前年同期比 2.7%増と6期連続の増加。

- ・ 輸送機械は8期連続増加、電気機械は5期連続増加。鉄鋼は4期連続減少。
- ・ アジアは7期連続増加、北米、欧州は引き続き減少傾向。特に中国は電気機械が好調で6期連続2桁増加。

(1) 従業者DIは、前期比 2.2%ポイント（前期DI 4.2 当期DI 2.0）と、前期改善から悪化に転じた。一方、当期DIは 2.0%ポイントと5期連続プラスとなった。

- ・ 業種別にみると、前期比は輸送機械、一般機械など13業種中7業種で悪化となった。当期DIは13業種中7業種がプラスとなった。
- ・ 地域別にみると、前期比は、北米は同 7.1%ポイント、欧州は同 4.2%ポイントと、ともに前期改善から悪化となり、アジアは同 0.3%ポイントと2期連続改善した。アジアでは、特にNIES3が同 7.9%ポイントと2期連続改善となった。当期DIはアジアを除き全地域でマイナスとなった。アジアでは、特に中国が15.5%ポイントと17期連続2桁台のプラスで推移している。

(2) 従業者数（期末）は 232万人、前年同期比2.7%と6期連続の増加となった。

- ・ 業種別にみると、輸送機械は同7.8%と8期連続の増加となり、電気機械は同2.6%と5期連続の増加となった。一方、鉄鋼は同 32.1%と大幅減となり、4期連続の減少となった。
- ・ 地域別にみると、アジアは同7.5%と7期連続の増加となった。一方、電気機械の減少から、北米は同 5.9%と10期連続の減少、欧州は同 5.1%と11期連続の減少となった。アジアでは、特に中国が電気機械が好調なことから同15.3%と6期連続2桁増加となった。

従業者数の地域・主要業種別のDI見通し（平成15年10月 - 16年3月期）及び実績（平成15年7 - 9月期）

（単位：前年同期比%、前期比%ポイント）

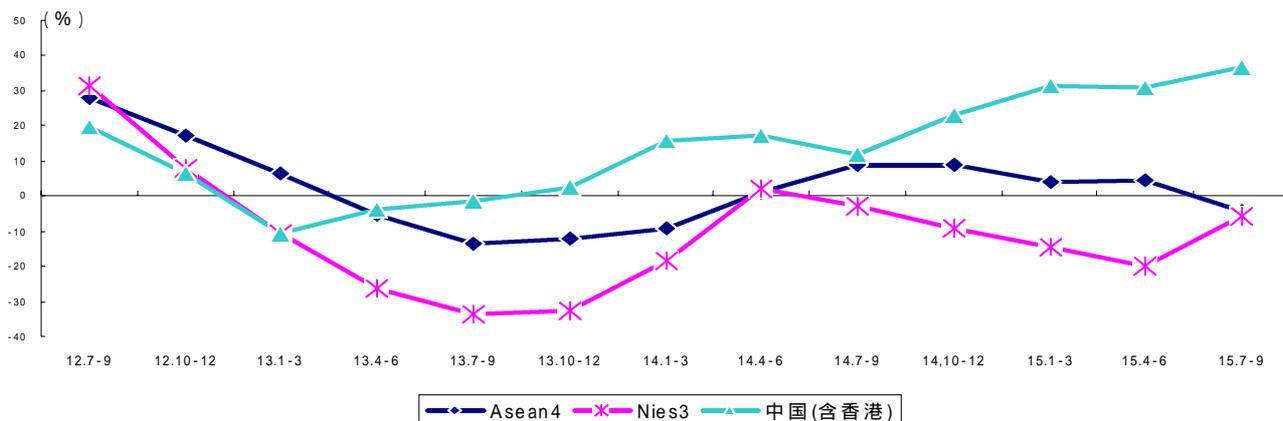
	計（業種・地域）		輸送機械		電気機械		一般機械		化学		鉄鋼	
DI(前期DI 当期DI)	4.2	2.0	13.2	9.7	1.8	1.9	7.6	4.8	0.4	0.7	14.8	18.3
DI(前期比)	2.2		3.5		0.1		2.8		1.1		3.5	
実績（前年同期比）	2.7		7.8		2.6		6.5		0.6		32.1	

	北米		アジア		ASEAN4 ^{*2}		NIES3 ^{*3}		中国（香港を含む）		欧州	
DI(前期DI 当期DI)	1.7	8.8	7.5	7.8	3.2	0.9	4.3	3.6	16.9	15.5	5.2	9.4
DI(前期比)	7.1		0.3		2.3		7.9		1.4		4.2	
実績（前年同期比）	5.9		7.5		2.1		1.6		15.3		5.1	

【トピックス】

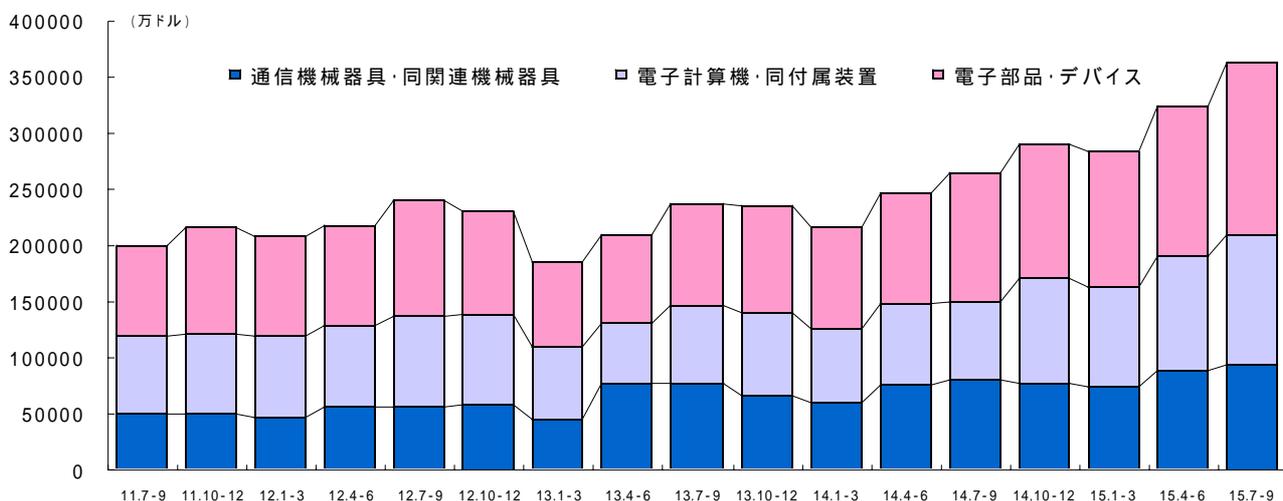
アジアのIT関連電気機械

中国が大きく成長、NIE S 3は下落傾向から反転



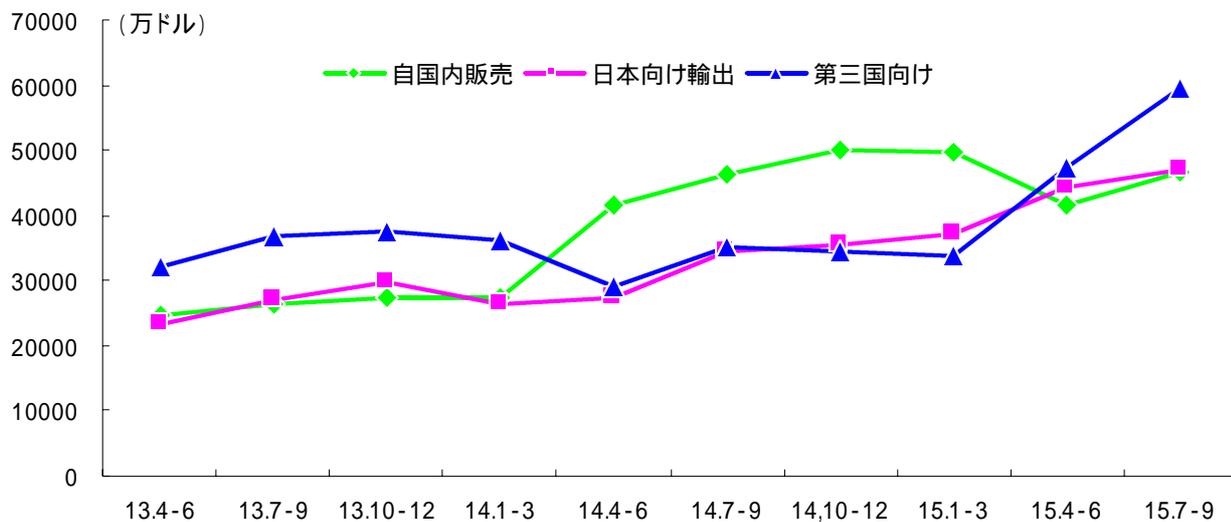
中国のIT産業売上高の推移

半導体素子、集積回路などの「電子部品・デバイス製造業」が4割を占める



中国の電子部品・デバイス製造業の仕向先

アメリカ、アジアの景気回復を背景に第三国向け・日本向けが好調



注) IT関連電気機械とは、通信機械器具・同関連機械器具(電話機、テレビ、ラジオ、ステレオなど)、電子計算機・同付属装置、電子部品・デバイス製造業(半導体素子、集積回路など)。